

議会基本条例推進委員会

広報部会 行政視察報告

平成23年1月に施行した塩尻市議会基本条例において、議会は、議会で得た情報を議会の視点から市民に伝えることを定めています。また、議会だよりや映像配信等の情報技術を活用して、市民への積極的な情報発信に努めることも定めています。(第9条)

議会の情報発信、情報提供に関することを担当する、議会基本条例推進委員会広報部会では、年4回議会だよりを発行しています。また、現在行われている議会本会議のテレビ中継及びインターネット録画放映に加え、新たに常任委員会の放映の実施についても検討を行っています。

今年度、より見やすい議会だよりの研究と、常任委員会の放映について、放送機材や具体的な運用方法などを参考とするため、先進地へ行政視察を行いました。



広報部会の7名は、11月14・15日の両日、静岡県伊豆の国市に「議会だより」を、神奈川県横須賀市と厚木市に「常任委員会のインターネット中継」を視察しました。



伊豆の国市議会は、本市議会と同様に議員が中心となり、議会だよりの編集を行っています。パフォーマン스에 특化させないという議員の判断から、一般質問者の顔写真を載せない、中学生にも読めるようになどをモットーに編集されています。文字の大きさ、行間、ページの余白なども、読みやすさを重視したものになっており、今後の紙面づくりに大変参考になりました。



横須賀市議会は、13年前に議長の諮問機関である「議会活性化推進委員会」を設置、市民への情報発信について検討、その後も「議会IT化検討会」の開催や「議会IT化基本計画」を策定するなど議論を重ねてきました。本会議はピックアップチャーターの手話通訳付きでインターネット中継しています。

委員会の中継は、4室の内2室で行えるように、平成20年度に1千400万円余の初期構築費用をかけ、3台のカメラは発言者マイクと連動してカメラが切り換わり、発言議員の顔が映ります。最近では、理事者側撮影用にカメラが1台増設されました。

厚木市議会では、平成16年度から、議会のインターネット配信を開始、議員側と理事者側を映す2台の定点カメラが設置されていますが、発言者が明確ではありません。このカメラは議会事務局の職員がスイッチ操作をしており、委員会室2室の内1室が放映可能です。

両市議会ともインターネット配信のアクセス数は多いですが、傍聴者に減少は見られません。誰でも気軽に見られることで、市民の皆様だけでなく行政職員や議員にもメリットは大きいようです。

本市議会もこれらを参考に開かれた議会を目指していきます。

